

第5 学年道徳学習指導案

1. 単元名 「いのちは見えるよ」 生命の尊重3-(1)

2. 単元について

本主題は「いのちについて考え、その大切さを実感する子どもの育成」であり、この主題にアプローチすべく題材に選んだのは『いのちは見えるよ』という絵本である。

この絵本は目の不自由な母親ルミが出産し、子どもを育てていく姿を、エリというルミの隣に住む女の子の目を通して語られる物語である。目の見えないルミの赤ちゃんがあまりにかわいかったため、エリがつい口からこぼしてしまった「見えたらよかったね」という言葉に対し、ルミは「いのちは見えるよ」と応えている。このルミの言葉によりエリのこころの中は「いのちが見えるってどういうこと？ルミさんはどうして見えるのだろう？」という疑問が占めてしまい、エリは<いのち>というものに対しいろいろな考えを思いめぐらせていく。

この絵本を題材に選んだ理由は、「いのちは見えると思いますか？」とういエリもぶつかった疑問を考えることで、<いのち>について考えるきっかけにし、<いのちの大切さ>を実感させるのに適した題材だと考えたからである。

またこの絵本は<いのち>だけでなく<出産>というテーマをも含んでいるため、理科の「たんじょうのふしぎ～ひとのたんじょう」において人が産まれるまでの過程は学習したばかりであるので、ここで学習したことも用いるなどいろいろな角度からアプローチし実感できるように工夫していく。

また本テーマの「いのちは見えると思いますか？」ということを考えるにあたっては、個人思考、グループでの話し合い、全体での話し合いなど、いろいろな場面を用意し、子どもたちが自分や他者の考えを比べたり、他者の考えを取り込んだりと、話し合いを通して自分の考えを深めさせていきたいと考えている。

本単元の指導にあたっては、各自の考えや意見を交流し、他者の考えを自分の中に一度は取り入れ、もう一度、自分の考えをまとめていくといった、他者理解を深めながら学習を進めることに重点を置く。他者理解を深めるにあたっての学習材は、一度自分の考えをワークシートや、班での話し合い活動で出てきた他者の意見である。そこで他者と自分の考えの違いを比べたり、他者のいいところを取り入れたりする「相互作用」の活動を通して児童に自分の考えをまとめさせていきたい。

この題材における学習終了後は学級活動をはじめとして全ての教育活動、学校生活において学習したことを生かし、友達の思いを受けとめたり、困ったときに助けたりする実践力を持った子どもにしていきたい。

3. 単元の目標

- 児童一人一人の感じたこと一つ一つからいのちの大切さを感じる。
- いのちあるものすべてに対する感謝の心や思いやりの心をはぐくむ。

<人権教育の視点での育てたい力>

- 友達のいいところを見つけ、友達と協力しながら助け合ったり、高め合ったりする。
- 周りの友達の思いを自分の思いと同じように大切ににする。
- 友達の思いを受けとめたり、困ったときに助けたりする力。

4. 単元計画

配時	目標	主な学習活動	児童への支援
1	○児童一人一人の感じたこと一つ一つからいのちの大切さを感じる。 ○いのちあるものすべてに対する感謝の心や思いやりの心を育む。	1. 自分の考えを書く。 2. 自分の考えを発表する。 3. 他者の考えを聞く。 4. 自分の考えをまとめる。	○考えのまとまらない児童を支援する。 ○児童の意見をチェックしておく。

5. 本時

2009年9月24日(木) 5校時

6. 本時の目標

- 児童一人一人の感じたこと一つ一つからいのちの大切さを感じる。
 - いのちあるものすべてに対する感謝の心や思いやりの心をはぐくむ。
- <人権教育の視点での育てたい力>

- 友達のいいところを見つけ、友達と協力しながら助け合ったり、高め合ったりする。
- 周りの友達の思いを自分の思いと同じように大切ににする。
- 友達の思いを受けとめたり、困ったときに助けたりする力。

7. 本時指導の考え方

本学級の児童は自分の考えを持っているが、それを書いたり発表したりすることをあまり得意としていない児童が多い。また、他者の話を聞いてそれに意見を言う児童もいるがそれも一部である。本学習では他者の考えを自分の中に一度は取り入れ、もう一度、自分の考えをまとめていくといった、他者と自分の考えの違いを比べたり、他者のいいところを取り入れたりする「フィードバック」の活動を通して児童に自分の考えをまとめさせていきたい。

まず題名の「いのちは見えるよ」の「いのちは見える」という部分から自分の意見を書かせ、話し合いの材料にしていきたい。その後、本文のあらすじをとらえた上で、登場人物の思いや考えにせまらせたい。その時にこの相互作用の手法を用い、なかなか自分の意見を発表できない児童でも、他者の考えを借りたり、自分の中に取り入れたりしていくことで、自分の意見をまとめることができるようにしていきたいと考えている。

また相互作用の活動が活発になるように、書くことや話し合いに臨むテーマなどをしっかり絞り、活動のめあてを焦点化していきたいと考える。

8. 本時の展開

段階	学習活動	児童への支援 (◎人権の視点)	評価の観点
導入	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">いのちは見える◎</div> ①発問「いのちは見えると思いますか？」 ②ワークシートに自分の考えを書き込む。	○ 黒板に表示する。 ○ ワークシートを用意する。 ○ 机間指導し、考えのまとまらない児童を支援する。 ○ 児童の意見をチェックしておく。	○自分の考えを書くことができる。 ○他者の考えを自分と比べながら聞く。
展開前段	③ 考えを発表する。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;"><めあて> いのちについて考えよう。</div> ④ 本文を教師が読み、それを聞く。 ⑤ 発問「ルミさんの考えを聞いてあなたは どう思いましたか。」 班で話し合いをする。 1. ルミさんの気持ち 2. いのちは見えると思いますか？	○ 挿絵は黒板に貼る。 ○ 机間指導し、考えのまとまらない児童を支援する。 ◎ 考えや意見の言えていない児童への支援。	○自分の意見を話し合いの中で言う。 ○他者の考えや意見を聞く。
展開後段	⑥ 考えたこと・感じたことをワークシートに記入し、発表する。	○ 机間指導しながら、考えのまとまらない児童を支援する。	○すすんで自分の考えを書くことができる。
終末	⑦ 教師の話聞く。 ・いのちへのよろこび・いのちの大切さ。		